

令和4年度宮崎特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会  
第1回理事会

進行:小園 記録:高橋(彩)

1 開会行事

(1) 会長あいさつ                      みなみのかぜ支援学校 仲屋孝校長

お忙しい中、リモートでの参加ありがとうございます。先日、令和4年度県特研連第1回理事会・代議員総会が開かれ、本年度の事業計画等すべての議案が了承されました。研究大会のありかたについて模索し、新たな形での研究大会が7月に開催されます。オンラインでの開催は、コロナ禍だから仕方なくやるのではなく、主幹校等の負担軽減や、より多くの先生方が参加しやすい体制をつくること、普段減や専門性の向上を狙いとしています。総会を兼ねておりますので、事業計画や予算等の提案もあります。より良いものにしていけるよう、よろしく願いいたします。

(2) 配布資料確認

2 第1回理事会

(1) 知的部会について(理事会資料P1~4)

【小園T】

理事の先生は年3回の理事会に参加し、そこで得た研究大会等の情報を確実に各地区や学校に情報発信をする。

自己紹介は省略(P5の理事一覧参照)

(2) 令和3年度知的部会事業報告(資料P6~7)

⇒承認

(3) 令和3年度知的部会収支報告(資料P8~9)

⇒承認

(4) 令和3年度九特連収支報告(資料P10)

【川越T】監査の横山校長の日付が抜けているが、3月1日となる。

⇒承認

(5) 令和4年度知的部会事業計画案(資料P11~12)

【小園T】九特連大会で、小中学校からの提案者については確認中。把握次第、報告。

⇒承認

(6) 令和4年度知的部会予算案(資料P13)

【みやざき中央・水野T】

昨年度の決算で繰越金が71万ということだが、先日の県特研連総会で繰越金が61万ということで多すぎると話題になった。県特研連については、2・3年前から多すぎる繰越金を調整していくために、大会積立金をやめたり各部会の補助金を変更したりしている。10年後には

繰越金は問題ない額になる予定である。県特研連のいち部会である知的部会がそれを上回る繰越金があるのは…。しかし、知的部会は今後大きな大会を控えていることもあり、そちらにむけての特別会計を増額するなどして調節していけるのではないか。今年度も増額していいのではないか。前回の九特連では予算が足りなくなり、物販を行った。それを避けるために、ある程度積立金を多めにしてもいいのではないだろうか。

【仲屋校長】

残金が多いのは指摘の通り。令和10年度に九特連大会があり、それにおけて積み立てて、特別会計も150万はある。十分な気もしている。前回、会場費だけでも莫大な金額がかかったが、コロナ禍の状況もどうなるかわからない中で判断が難しい。事務局と話をし、必要に応じて補正予算として今後の理事会で提案させていただく。使う見込みのないお金が多くなってきた場合は、九特連の積立の方を増額して様子を見ていこうと思う。

【附属小・瀬川 T】

小中特研の集金の予定9月9日である。振り込みが遅くなるかもしれない。その場合、積立金等で運営をすすめていただけると良いかと思う。

【川越 T】

収支予算案が通ったので、各学校に負担金依頼の文書を郵送する。

(7) 令和4年度九特連収支予算案(資料 P14)

⇒ 承認

(8) 令和4年度以降の九特連・全特連大会提案者等について(資料 P15)

分科会について、先日行われた九特連の評議員会で再編成を行う案が出された。今後検討があるため、令和6年度の佐賀大会から分科会のテーマについては編成していく。詳細は今後連絡。

研究大会ローテーションについて(資料 P16)

3 第1回知的部会研究大会実行委員会 都城きりしま 壹岐 T より

(1) 大会実施計画案(資料参照)

(2) 二次案内について(資料参照)

案内のQRコードから入力フォームにて、必要事項を記入して参加表明。

※参加者を学校ごとにとりまとめ、代表者が入力フォームに記入。

※フォーム内のメールアドレスは、ひむかWebメールもしくは学校のものを使用する。

※接続機器の台数についても入力する。

※後日、接続方法や資料などを送信する。

Zoomでの配信について

- ・ 参加方法について、大会事務局からのメールにIDとパスワードを記載している。それを利用して、Zoomに参加。
- ・ 当日参加する学校については、接続テストを予定している。7/15(金)16:05~
- ・ 接続テストについてもメールで案内をする。参加必須ではないが、地域によってはつながりにくい場合があるため、テスト段階でそれが分かれば、オンデマンドでの参加を推進する。

## 後日オンデマンド配信の流れ

- 入力フォームにて必要事項を入力
- e-研修の方法を大会事務局からメール
- IDとパスワードを入力して動画視聴(6月末に研修センターより案内される予定)
- ※ 個人のひむかメールアドレス・パスワードでも視聴可能。

### <理事の方へ>

今回の内容を周知拡散をお願いします。

- ② 二次案内届いているか
- ③ 申し込みは学校で取りまとめる
- ④ ライブ配信は接続テストがある

### (3) 予算について(資料参照)

#### 【みやぎき中央・水野 T】

午前の児湯るびなす主幹の研究大会では、FAX での申し込み時に職名や個人名を書いたの申し込みである。参加人数の把握をしている。知的部会では回線数のみだった。参加人数等の把握は必要ないか。

⇒本年度に関しては、回線数のみの把握をする。(前回の日向大会の反省をうけたうえで)

#### 【三股中・小野 T】

- ・ 視聴覚機器の台数とあったが、小中学校も同様に台数を伝えた方がよいか。  
⇒参加する学校数が多いため、接続台数の把握するためをお願いしたい。
- ・ 小中学校は各個人のタブレット等で視聴してよいか、学校内でまとめた方がよいか。  
⇒みんなで視聴する必要はないが、台数によっては制限をする可能性がある。回線数に問題がなければ、個人のタブレット等で構わない。
- ・ 小中学校は知的学級と情緒学級があるため、情緒のオンライン研修に参加して知的の方をオンデマンドで視聴するなどの形でも良いか。  
⇒学校の中で複数の分科会に参加する場合は、オンライン・オンデマンド両方の活用で問題ない。臨機応変に対応を。

#### 【飯野小・久保 T】

- ・ エリアの先生方に伝達する場合は、どのようにしたらよいか。  
⇒小中学校が利用しているシーフォースでの案内や可能であれば紙面での配布。本会終了後、知的部会のホームページに本日の資料をUP予定のため、それらを活用。
- ・ パワーポイントの資料をいただけるとありがたい。  
⇒本会后、各理事の先生方へ送信する。

#### 【日向ひまわり・上杉 T】

人数確認はしなくてよいのかという質問があったが、昨年度は申し込み段階では把握していなかったが、担当者同士のやり取りの中で参加人数等について聞くことがあった。

⇒事務局と都城きりしまで連携して、今後対応。

#### 【小園 T】

本来1年の準備期間があるものを、前倒して企画準備をしていただいている。本大会の情報の周知・拡散をよろしくをお願いします。

#### 【都城きりしま・壹岐 T】

実施要項等各学校に送っていますが、届いていない学校はありませんか。

附属小・瀬川T挙手⇒近日中に県特県連HPIにUP。

#### 4 その他

(1) 全特連秋田大会について【資料参照】

(2) 九特連沖縄大会について【資料参照】

【日向地区・後藤T(代理)】

本年度日向地区が分科会の発表になっているが、まだ発表者が決まっていない。急いで決めたいところであるが、情緒学級から選出しようとしていたため、これから知的学級から選びなおさないといけない。発表資料の締め切り等の情報はどこからもらえるのか。

【小園T】

情報の連絡等がうまくいってなくて申し訳ない。沖縄大会事務局の方に7/1までに発表者の報告をしなくてはならない。小中特研と連携していかないといけないが、沖縄からは連絡はないか。

【後藤T】

一切情報がない。情報収集しようとはしているがわからない。

【小園T】

第1次案内が6月6日付で来ている。なかなか事務局にまで情報が回ってこない。沖縄もはじめてのオンライン開催でご苦労されてるのではないか。十分に情報伝達ができず申し訳ない。知りたいことを連絡いただければ、わかる範囲で対応していく。

【小中特研・瀬川T】

1月下旬に事務局会が開かれ、そこで令和4年度は日向地区発表担当と確認している。富永校長先生から日向地区の校長あてに連絡をしている。発表者は決まっていると聞いていた。富永校長と確認を取っていく。

【後藤T】

いつまでに何を準備したらよいかかわからないと先生方にお願いができない。それをどこに問い合わせたらいいのかわからないため、それだけでも教えてほしい。過去の大会資料で、自立活動で肢体不自由学級の発表があったのだが、知的学級の発表でないといけないのか。

【小園T】

確認次第、連絡をとります。現時点では、提案者の報告用紙のみであるため、それを後藤Tへお送りする。発表内容に関しては、基本的に知的障がいの事例発表になる。

【みやざき中央・水野T】

知的部会と情緒部会で連携をとって確認をした方がよい。垣根がはっきりしていない事例もあるが、近年は区別して研究大会などが開催されている。各部会できちんと伝達していく必要がある。県特連としても今回の課題として吸い上げておきたい。

【小園T】

情報の周知・拡散の部分で不足している部分がある。今後対応していきたい。

【三股中・小野T】

以前は知的と情緒を両方含んだ内容を発表した。その際は、事務局にあらかじめ了承を得て行った。知的が含まれていれば情緒でも良いのではと個人的に思う。

#### 【小園T】

九特連関係は課題が多い。情報を整理して、担当地区の先生方に確実にいきわたるようにしたいと思う。沖縄の事務局の方にもみなみのかぜから確認をとっていきたい。

#### 【三股中・小野T】

県小中特研から、分科会発表者の依頼がある場合は基本的に知的障がい関係の発表になる。情緒部会に関しては、宮崎南小に事務局が統一されている。情緒の発表者については南小の情緒部会から依頼が行われる。

#### 【小園T】

研究大会についての情報がよくある。各エリアや学校へ確実に情報伝達をお願いしたい。

### 5 閉会行事

#### (1) 会長あいさつ みなみのかぜ支援学校 仲屋 孝校長

本日はありがとうございました。連絡体制の難しさを感じている。県立学校と小中学校の連絡手段の違いがあるため、今後検討が必要。現時点で一番良いのは、HPを見ていただくことではないだろうか。今後HPの活用をすすめていきたい。7月の研究大会では多くの先生方に参加していただけるようによろしく願います。